

「2005年総選挙・マニフェストを評価する」
～小泉政権は何を達成したか、民主はいかに闘うか～

株式会社PHP総合研究所

〒102-8331 千代田区三番町3-10

03-3239-6222

THINK2@php.co.jp

連絡先：永久寿夫、土井系祐

平成17年08月26日

総選挙直前！「政権公約検証緊急大会」

新しい日本をつくる国民会議（21世紀臨調）

Ⅱ. 政権公約達成度・主要項目評価（各論）

【自民党について】

* 評価の理由については、分野内で上位に評価された個別政策をリストアップ（進捗度×難易度＝25点満点）。

評価項目： 政治 **判定 26点（進捗度「実施」以上50%）**

	実 績	実行過程	説明責任
採 点	26/100点満点	NA/〇〇点満点	NA/〇〇点満点
評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	・新しい憲法草案をつくる (12/25)	評価方法未確立のため	評価方法未確立のため

評価項目： 行財政 **判定 34点（進捗度「実施」以上53%）**

	実 績	実行過程	説明責任
採 点	34/100点満点	NA/〇〇点満点	NA/〇〇点満点
評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	・道路関係四公団改革（14/25） ・国・地方の公的債務の削減と管理（14/25） ・三位一体改革（11/25）	評価方法未確立のため	評価方法未確立のため

評価項目： 経済 **判定 30点（進捗度「実施」以上71%）**

	実 績	実行過程	説明責任
採 点	30/100点満点	NA/〇〇点満点	NA/〇〇点満点
評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	・構造改革特区の活用（13/25） ・金融再生プログラム（13/25） ・金融・証券取引の健全化・適正化（13/25）	評価方法未確立のため	評価方法未確立のため

Ⅱ. 政権公約達成度・主要項目評価（各論）

【自民党について】

評価項目： 生活 判定 35点（進捗度「実施」以上77%）

	実績	実行過程	説明責任
採点	35/100点満点	NA/〇〇点満点	NA/〇〇点満点
評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	<ul style="list-style-type: none"> ・司法制度改革 (13/25) ・若者自立・挑戦プラン (13/25) ・待機児童ゼロ作戦 (12/25) 	評価方法未確立のため	評価方法未確立のため

評価項目： 教育 判定 26点（進捗度「実施」以上50%）

	実績	実行過程	説明責任
採点	26/100点満点	NA/〇〇点満点	NA/〇〇点満点
評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	<ul style="list-style-type: none"> ・「青少年健全育成基本法」 (10/25) ・わが国の知的基盤を支える大学の国際競争力の強化 (10/25) 	評価方法未確立のため	評価方法未確立のため

評価項目： 環境 判定 20点（進捗度「実施」以上100%）

	実績	実行過程	説明責任
採点	20/100点満点	NA/〇〇点満点	NA/〇〇点満点
評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保護と経済成長率の両立 (5/25) ・地球環境問題への貢献 (5/25) 	評価方法未確立のため	評価方法未確立のため

Ⅱ. 政権公約達成度・主要項目評価（各論）

【自民党について】

評価項目： 外交・安保 判定 36点（進捗度「実施」以上67%）

	実 績	実行過程	説明責任
採 点	36/100点満点	NA/〇〇点満点	NA/〇〇点満点
評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	・拉致、核、ミ サイル問題の早 期・・・(14/25) ・日米同盟、ア ジア国際協調 (10/25)	評価方法未確立 のため	評価方法未確立の ため

Ⅱ. 政権公約達成度・主要項目評価（各論）

【公明党について】

評価項目： 政治 判定 24点（進捗度「実施」以上40%）

	実績	実行過程	説明責任
採点	24/100点満点	NA/〇〇点満点	NA/〇〇点満点
評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	・永住外国人への 地方選挙権の 付与（10/25） ・郵便投票や代 理投票制度の対 象者の拡大 （8/25）	評価方法未確立 のため	評価方法未確立の ため

評価項目： 行財政 判定 27点（進捗度「実施」以上69%）

	実績	実行過程	説明責任
採点	27/100点満点	NA/〇〇点満点	NA/〇〇点満点
評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	・国民に開かれ た行政訴訟制度 の創設（11/25） ・4兆円の補助 金の廃止・縮減 税源移譲 （11/25）	評価方法未確立 のため	評価方法未確立の ため

評価項目： 経済 判定 23点（進捗度「実施」以上50%）

	実績	実行過程	説明責任
採点	23/100点満点	/〇〇点満点	/〇〇点満点
評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	・観光担当大臣の 任命（9/15） ・新産業育成、規 制改革（8/15） ・個人補償を求め ない融資の推進 （8/15）		

Ⅱ. 政権公約達成度・主要項目評価（各論）

【公明党について】

評価項目： 生活 判定 23点（進捗度「実施」以上61%）

	実績	実行過程	説明責任
採点	23/100点満点	NA/〇〇点満点	NA/〇〇点満点
評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	・若年層の失業率の半減をめざし、「ジョブカフェ」(13/25) ・保育所受け入れ児童数(13/25)	評価方法未確立のため	評価方法未確立のため

評価項目： 教育 判定 36点（進捗度「実施」以上83%）

	実績	実行過程	説明責任
採点	36/100点満点	NA/〇〇点満点	NA/〇〇点満点
評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	・学校評議会の設置(12/25) ・スクールカウンセラーを全中学校に配置(11/25)	評価方法未確立のため	評価方法未確立のため

評価項目： 環境 判定 22点（進捗度「実施」以上75%）

	実績	実行過程	説明責任
採点	22/100点満点	NA/〇〇点満点	NA/〇〇点満点
評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	・ゴミ半減でリサイクル率の向上・エコ産業の規模と雇用の拡大(10/25) ・再生可能エネルギー(9/25)	評価方法未確立のため	評価方法未確立のため

Ⅱ. 政権公約達成度・主要項目評価（各論）

【公明党について】

評価項目： 外交・安保 判定 18点（進捗度「実施」以上44%）

	実績	実行過程	説明責任
採点	18/100点満点	NA/〇〇点満点	NA/〇〇点満点
評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	・ 難民申請の拡大 (9/25) ・ ODA 予算の 20% (9/25) ・ 麻薬撲滅への体制強化 (9/25)	評価方法未確立のため	評価方法未確立のため

Ⅲ. 新政権公約の検証と総選挙の争点

(1) 各党が公表する新しい政権公約の検証とコメント

① 政権公約としての形式的要件の検証、評価

〔自民党〕

- ・体系的に整理されており、わかりやすい。
- ・郵政以外の政策については、一文で内容を明確に表現しており、大まかな方向性については理解しやすい。
- ・前回は公約として意味が不明瞭な文章（「自民党が日本を変える」など）が散見されたが、今回は一掃された。
- ・自民党が約束を守っているかどうかを国民が検証する最小限の情報は提供されているが、背景・期限・財政的裏づけについては言及不足であり、明確ではない。

〔民主党〕

- ・体系的に整理されており、わかりやすい
- ・多くの政策について、期限や財政的な裏づけを明確にしており、公約を守っているかどうかを国民が厳密に検証しやすいという点で評価できる。
- ・しかし、そうした期限や財政的な裏づけがどれだけ根拠のあるものかについては疑問が残り、作文上の修辞にとどまっている可能性がある。
- ・政策性は高いがメッセージ性が弱く、一般有権者には情報過多。全体を貫く「顔」がほしい。

〔公明党〕

- ・自民党とのすりあわせなどの配慮からか、三党のなかではもっとも完成度が低い。
- ・個別的には訴求力のあるものもあるが、体系性に欠ける。
- ・周延的な細かい政策の比重が高すぎる傾向がある（ただし、前回よりは改善した）。
- ・期限や財政的裏づけについてはあまり明確ではない。

② 政権公約の内容についてのコメント

〔自民党〕

- ・郵政民営化を選挙の唯一の争点にしようとしており、他の政策については軽視の傾向がみられる。
- ・ただし、今後日本を方向付けるような重要政策分野が包括的に取り上げられており、政策間の整合性も比較的高い。
- ・郵政民営化関連で、資金の流れを官から民に移すという核心部分について説明が少なすぎる。

- ・郵貯・簡保の膨大な資金を民間市場に流すことにもなうデメリット（資金のダブつき）について議論が少ないのは不満。
- ・郵政以外の分野でも、全般的に「小さな政府」を実現し、民間にできることは民間に任せる、という基調を見て取ることができ、目指す方向は明確である。
- ・社会格差の拡大については配慮が薄い。
- ・前回に比べ、環境と教育分野での弱さが改善された。

〔民主党〕

- ・今後日本を方向付けるような重要政策分野が包括的に取り上げられており、政策間の整合性も比較的高い。
- ・郵政民営化に代わる争点として、行政改革や年金、少子高齢化対策などを強調しているが、重要項目が8つもあり、インパクトに乏しい。
- ・全般的に、公正でルールに基づくガバナンス（国際政治も含め）が志向されている印象を受けるが、さらにそれを鮮明に打ち出す必要があるのでは。
- ・前回に比べ、教育分野での弱さが改善された。
- ・マニフェストを総合して、歳出規模が本当に拡大しないかどうか疑念が残る。

〔公明党〕

- ・所得再分配機能に関する政策が多すぎる。
- ・自民党の「小さな政府」志向との関連が不明である。
- ・憲法、イラク、北朝鮮、教育基本法など、前回では強調されなかったテーマについても、自民党の従来の主張を維持しつつ、ある程度立場を鮮明にした点は評価されるべき。
- ・外交・安全保障面で米国との関係について言及がないのが疑問。

（2）総選挙で政権掌握をめざす政党が国民に問うべき争点

- 1) 郵政民営化は争点ではあるが、郵便事業ではなく、郵貯・簡保の資金をどうするかについて踏み込んだ議論が必要。前回政府案より適切な郵政改革が行なわれるような流れをつくるべき。
- 2) 財政再建の大きな方向性に関する議論。民間活力の活性化を通じて経済成長をはかり、歳入の自然増をはかるのか。増税をするのか。行政のムダをなくすことによる歳出削減なのか。それらのプライオリティに関する議論が必要。
- 3) 4年間の小泉政権をどう評価するか。与党は実績を示し、野党は単に自党の優位性を述べるだけでなく、小泉政権の実績を具体的な数字に基づいて批判すべき。
- 4) 政権担当能力（改革実行力）

(3) 各党マニフェストの形式的要件評価比較

	自民	公明	民主
ビジョン	70 (62)	60 (58)	70 (70)
構成	66 (59)	58 (58)	70 (69)
政治	40 (26)	26 (21)	42 (42)
行財政	53 (47)	43 (36)	63 (51)
経済	42 (41)	33 (32)	53 (44)
生活	45 (44)	40 (43)	51 (50)
教育	35 (21)	36 (31)	39 (22)
環境	33 (16)	37 (37)	46 (44)
外交・安保	47 (44)	36 (16)	46 (44)

※ () 内は2004年参议院選挙マニフェストでの評価

※ 評価方法

- ①各党マニフェストを比較可能にするために、各個別政策を「政治」「行財政」「経済」「生活」「教育」「環境」「外交・安保」で再分類。
- ②下記の評価項目ごとに各5点満点で採点し合計点を算出する(合計点は25点満点)。
 - ・ What: 政策として何を行なうかが書いてあるか
 - ・ Why: その政策を行なう理由や背景が書いてあるか
 - ・ When: その政策の実現に向けて具体的な期限を設定しているか
 - ・ How: 政策実現へのプロセスや方法を示しているか
 - ・ Appeal: 有権者の関心を引き付けるものであるか
 (ビジョンは同項目を各20点満点で合計100点満点で採点。構成は「明瞭性」とAppeal各50点、合計100点満点で採点)
- ③各分野ごとに整合性・包括性を0-1の範囲で評価
- ④各分野ごとの平均点を算出し整合性・包括性とかけ合わせ、100点満点になるように調整。

